地域住民に信頼され安全・安心を提供できる病院を

川崎医科大学総合医療センター

開院
特集 vol.3
ー診療編ー

小児科専門医（日本小児科学会）はもちろん、感染症（日本感染症学会）、小児神経（日本小児神経学会）、循環器（日本小児循環器学会）、外科（日本小児外科学会）を専門とする医師たちが診療を担当する小児科をご紹介します。

12月1日に開院しました。

皆さん、こんにちは。
川崎医科大学総合医療センター
小児科のメンバーです!

大学病院ならではの専門性の高い外来、入院診療を行い、地域の子どもの健康と成長に貢献します。

主な対象疾患

1 感染症
かぜ症候群／呼吸器感染症／消化器感染症／髄膜炎／敗血症／菌血症／脳炎／尿路感染症／皮膚感染症／インフルエンザ／麻疹／風疹／水痘／帯状疱疹／おたふくかぜ／単純ヘルペスウイルス感染症／突発性発疹／伝染性紅斑／手足口病／ヘルパンギーナ／アデノウイルス感染症／溶連菌感染症／RSウイルス感染症／マイコプラズマ感染症／クラミジア感染症／百日咳／学校結核検診異常

2 呼吸器疾患
気管支炎／肺炎／クループ症候群

3 消化器疾患
急性胃腸炎／便秘／腸重積

4 アレルギー疾患
気管支喘息／食物アレルギー／アトピー性皮膚炎／じんましん

5 腎泌尿器疾患
急性腎炎／慢性腎炎／ネフローゼ症候群／学校尿検査異常

6 循環器疾患
学校心臓検診異常／川崎病

7 膠原病リウマチ性疾患
若年性特発性関節炎／リウマチ熱／全身性エリテマトーデス／IgA血管炎

8 神経筋疾患
熱性けいれん／てんかん

9 血液疾患
鉄欠乏性貧血／血小板減少

10 免疫疾患
免疫不全症／易感染性

11 内分泌代謝疾患
低身長／肥満／アセトン血性嘔吐症

12 精神行動心身医学
発達障害／起立性調節障害／夜尿症

13 予防接種
定期接種／任意接種／海外渡航時のワクチン

14 乳児健診

※上記以外のさまざまな疾患も診察・治療を行います。

患者さんやご家族に寄り添った治療を行います

小さいお子さんは痛いところや症状がうまく伝えられず、本人はもちろん、ご家族も心配になることが多いと思います。「どの程度の症状で病院に診てもらうべきか」と悩まれた経験もあるかと思います。その不安や心配にわたしたちは十分に耳を傾けたうえで、迅速で正確な診断が行えるよう心がけています。

1 小児科を中心とした他科との連携体制が整っています

子どもにアレルギー症状（鼻炎、喘息や皮膚炎）が見られたときに、皆さんならどの診療科に診てもらいますか。当院の小児科に受診いただき、より専門的な診療や治療が必要となった場合には、すぐに耳鼻咽喉科や皮膚科などと緊密に連携して患者さんに最適な医療を提供することができます。他科との垣根が低く、患者さん本位の医療体制は当院の特徴でもあります。

2 岡山県予防接種センター（岡山県からの委託事業）を設置しています

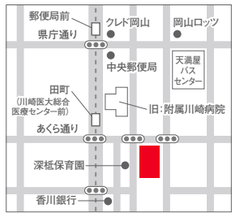
子どもの予防接種制度には、近年さまざまな変化が見られています。定期接種ワクチンの種類が大いに増え、乳幼児の細菌性髄膜炎など重症感染症を予防するインフルエンザ菌b型（Hib,“ヒブ”）ワクチンや小児用肺炎球菌ワクチン、そして水痘（みずぼうそう）やB型肝炎ワクチンも定期接種となり、公費で受けることができます。接種スケジュールや同時接種の問題、基礎疾患やアレルギーのある子どもへの接種などについてご相談ください。

3 医療機関受診が必要な結核検診や尿検査（腎臓検診）も行っています

食物アレルギーや気管支喘息の診療、学校健診で医療機関受診を指示された結核検診や尿検査（腎臓検診）も行っています。
心臓検診での心雑音や不整脈については、小児循環器専門医（日本小児循環器学会）による外来（予約制：第1, 第4水曜日午後）があります。
※小児外科診療は毎週火曜日午後の予約制

かかりつけ医（地域のクリニック・医療機関）と連携して切れ目ない医療を提供します。

子どもの病気で気になることを医師と気軽にお話ししませんか?
座談会に参加いただける方を募集中。詳しくは ✉planning@hughug.co.jp までお問い合わせください。

川崎医科大学総合医療センター
〒700-8505 岡山市北区中山下2-6-1
TEL.086-225-2111

アクセス方法
■市内電車でお越しの方
JR岡山駅から清輝橋行きで、「田町（川崎医大総合医療センター前）」電停下車
■バスでお越しの方 JR岡山駅から天満屋経由のバスで、「天満屋バスセンター」下車
■車でお越しの方 地下駐車場（約280台）完備